

2025年度（2026年3月期） 決算概要

2026年5月15日



愛媛銀行は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

■ 2025年度決算は増収増益となり、経常利益・当期純利益は過去最高益

- ・ **総資産 3 兆円、貸出金 2 兆円**の節目を突破（シップファイナンスを中心に貸出金伸長）（⇒P5）
- ・ 貸出金利息の増加、コンサルティング関連手数料の増加、外貨調達コストの減少を主因として、**銀行本業のもうけを示すコア業務純益が伸長**（前年比38%増加）（⇒P4）
- ・ **連結当期純利益70億円超の水準は当行で初めて**（⇒P4）

■ 第18次中期経営計画（2024～2026年度）の主要計数目標を前倒して達成

- ・ 「当期純利益60億円以上」「ROE4.0%程度」「OHR60%台」「自己資本比率8.0%以上」といった**主要計数目標を前倒して達成**（⇒別資料「中計進捗状況」P4）
- ・ 個別戦略のKPIについても年度計画を概ね達成（⇒別資料「中計進捗状況」P5.6）

■ 過去最高益を受け、10円の増配を予定

- ・ 当初予定していた創業110周年記念配当2円と合わせ、前年度比12円の増配を予定（⇒P7）
- ・ 2026年度は更なる増配により単体で**配当性向30%以上を目指す**（⇒P7）



2025年度（2026年3月期）の決算概要について

- > 決算概要 3
- > 預金等・貸出金の状況 4
- > 開示債権・信用コストの状況 5
- > 自己資本・配当の状況 6
- > 連結決算の状況 7

決算概要

※各計数については、単位未満を切り捨てた値を記載しているため、資料上の数値を用いて計算した増減数値と表示の値が異なる場合があります。次ページ以降同様。



単体決算の概要

(百万円)

	2024年度	2025年度	前年度比
業務粗利益	25,556	27,686	2,130
コア業務粗利益	27,882	32,205	4,323
資金利益	34,186	35,158	972
役務取引等利益	△ 1,204	△ 837	367
その他業務利益 (除く国債等債券損益)	△ 5,100	△ 2,115	2,985
国債等債券損益	△ 2,325	△ 4,518	△ 2,193
経費 (△)	21,270	21,764	494
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	4,286	5,922	1,636
コア業務純益	6,611	10,441	3,830
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	6,174	9,923	3,749
一般貸倒引当金繰入 (△) ①	-	829	829
業務純益	4,286	5,093	807
臨時損益	2,798	4,773	1,975
貸倒償却引当費用 (△) ②	934	△ 239	△ 1,173
株式等関係損益	3,416	4,105	689
その他臨時損益	316	428	112
経常利益	7,084	9,866	2,782
特別損益	△ 121	△ 256	△ 135
当期純利益	5,216	6,690	1,474
信用コスト (①+②)	934	589	△ 345
経常収益	60,986	62,954	1,968

連結決算の概要

(百万円)

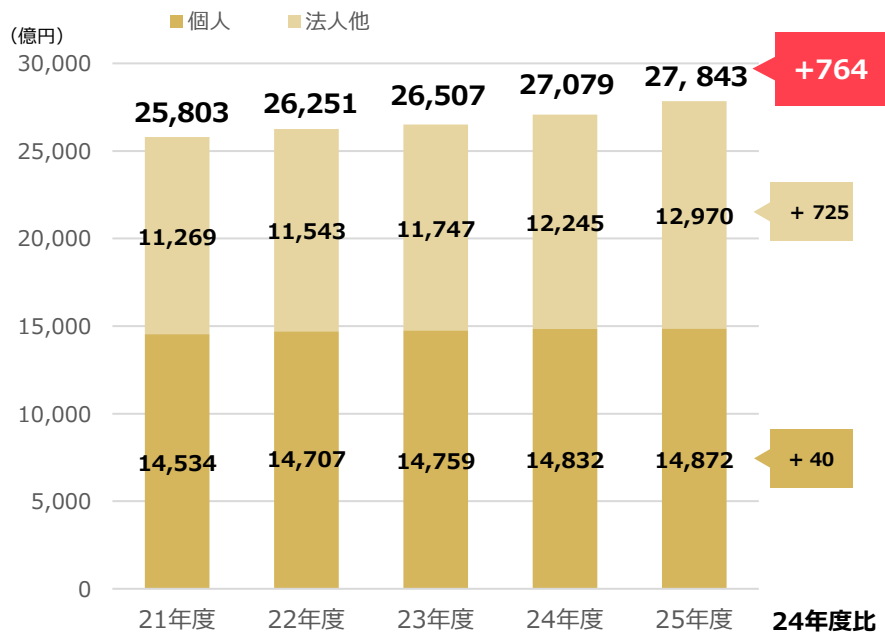
	2024年度	2025年度	前年度比	連単差
経常収益	66,146	68,517	2,371	5,563
経常利益	7,835	10,665	2,829	799
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,715	7,212	1,496	522

- 2025年度決算は**増収増益**
- 経常利益（連結）は100億円を超え**過去最高益**
- 当期純利益（連結）は70億円を超え**過去最高益**
- 過去最高益を受け、10円の増配を予定 →P7
- 増益の主な要因
 - ・円貨貸出金利息収入の増加（収益増加）
 - ・コンサルティング関連手数料の増加（収益増加）
 - ・外貨調達コストの減少（費用減少）

預金等・貸出金の状況

- 預金等（未残）は、前年度比+764億円の増加
- 貸出金（未残）は、シップファイナンスが順調で、事業性貸出他を中心に前年度比+381億円の増加（残高2兆円を突破）
- 総資産3兆円を突破

主体別 預金・譲渡性預金（未残）の推移



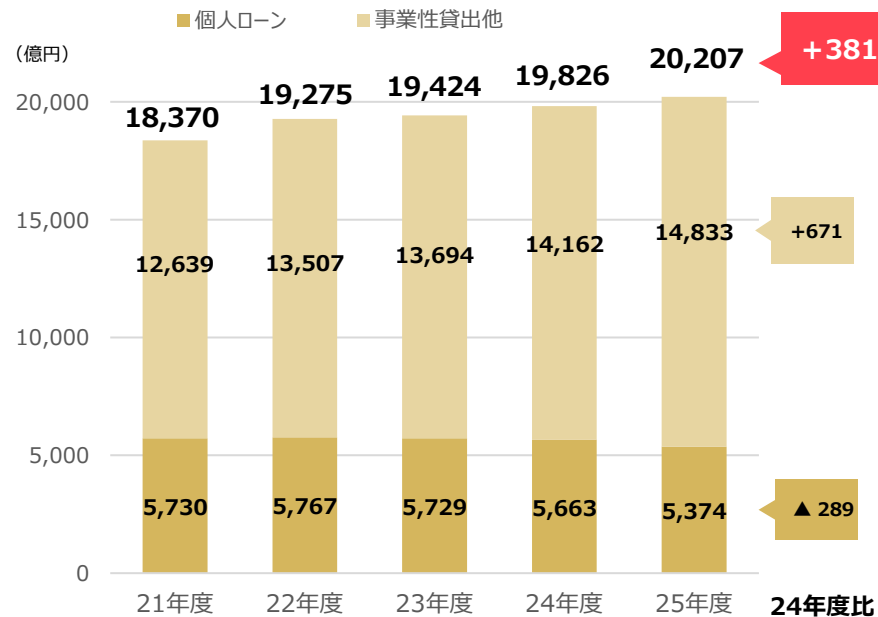
(参考)

総資産 ▶

28,809	28,776	28,799	29,516	30,714
--------	--------	--------	--------	---------------

(億円)

主体別 貸出金（未残）の推移



(参考)

シップ
ファイナンス ▶

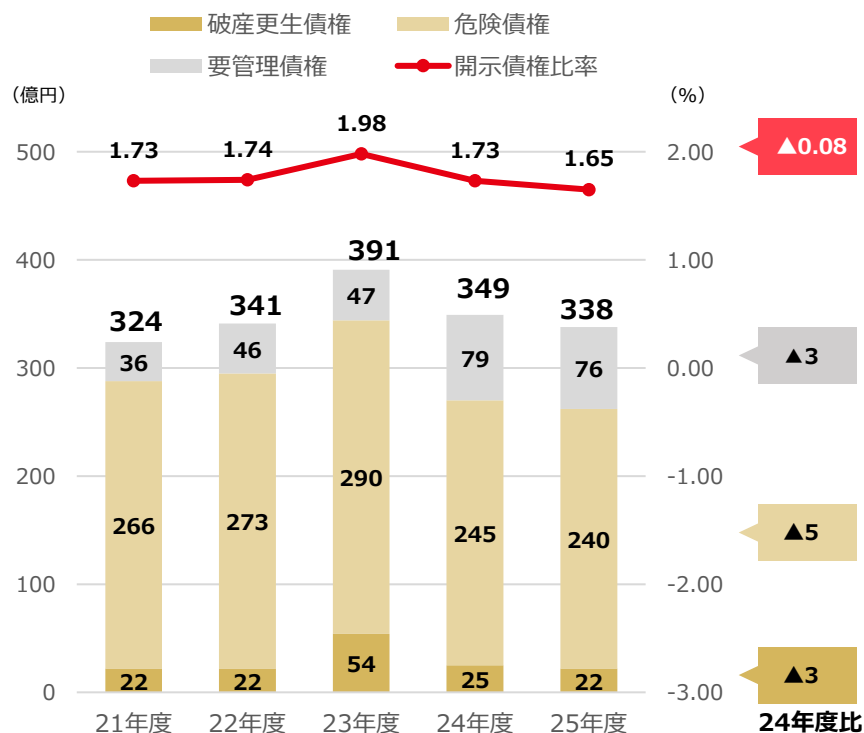
4,246	4,598	4,901	4,916	5,355
-------	-------	-------	-------	--------------

(億円)

開示債権・信用コストの状況

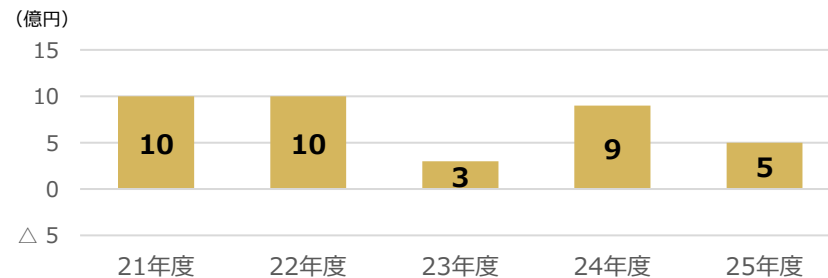
- 開示債権比率は1%台を維持
- 信用コストについては、取引先の業況改善が進み、貸出債権が良化したため減少

開示債権の推移

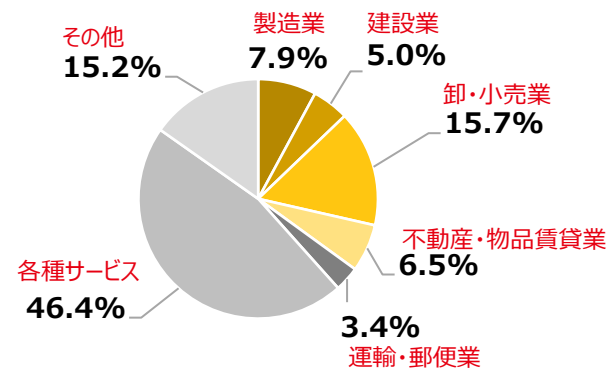


※開示債権の残高については、単位未満を四捨五入して表示している。

信用コストの推移



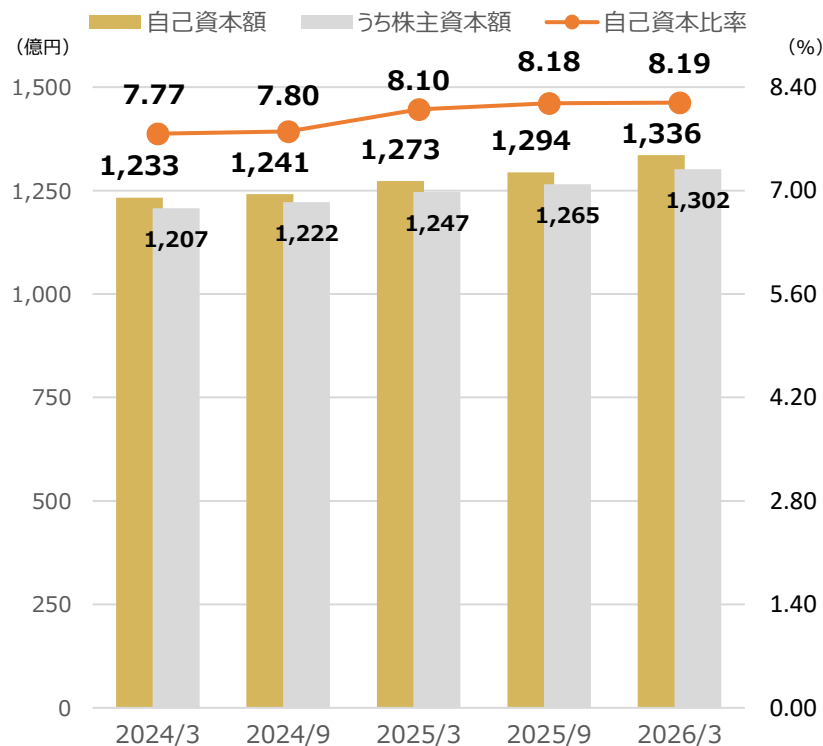
業種別リスク管理債権の内訳



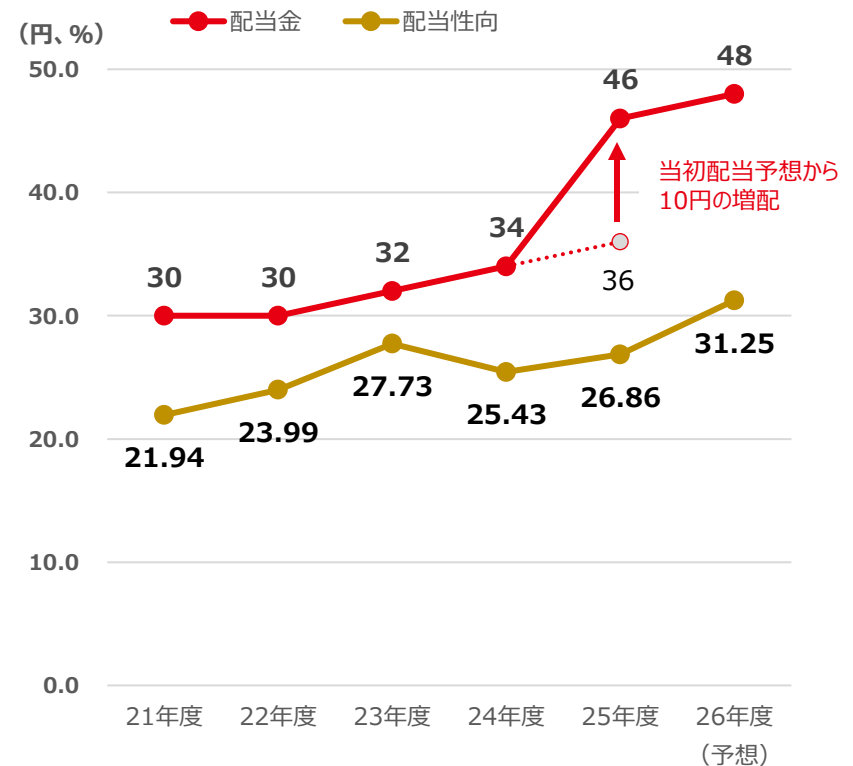
自己資本・配当の状況

- 自己資本額は毎期安定した利益計上により順調に増加
- 配当金は過去最高益を受け10円の増配を予定（創業110周年記念配当と合わせ前年度比+12円）
- 2026年度の配当性向（単体）を30%以上を目指す

自己資本額の推移（単体）



配当金と配当性向（単体）



(参考) グループ組織

(株)愛媛銀行

- 本支店・出張所 111か店（本支店99か店、出張所12か店）
 - － 愛媛県内91か店（ローンセンター松山、四国八十八カ所支店、HandyBank支店を含む）
 - － 四国内他県12か店（香川県、徳島県、高知県）
 - － 四国外8か店（東京都、大阪府、岡山県、広島県、大分県）
- 子会社14社
 - － 連結子会社5社
 - ひめぎんビジネスサービス(株)（現金自動設備の保守管理業務、特定取引先の集金業務等）
 - (株)ひめぎんソフト（コンピューターのソフト開発及び販売、コンピューターによる情報処理等）
 - ひめぎんリース(株)（リース業務、投資業務等）
 - (株)愛媛ジェーシービー（クレジットカード業務、信用保証業務等）
 - (株)西瀬戸マリパートナーズ（シッフファイナンスの高度化支援、海事産業事業者の交流促進等）
 - － 持分法適用の非連結子会社7社
 - 投資事業有限責任組合えひめベンチャーファンド2013（ベンチャー企業への投資業務）
 - えひめアグリファンド投資事業有限責任組合（農業法人への投資業務）
 - えひめ一次産業応援投資事業有限責任組合（一次産業への投資業務）
 - せとうちSDGs投資事業有限責任組合（瀬戸内地域において、SDGsを経営に取り込む非上場企業への投資業務）
 - 合同会社コラボローン西瀬戸1（船舶に係る金銭債権取得、保有及び処分）
 - 合同会社コラボローン西瀬戸2（船舶に係る金銭債権取得、保有及び処分）
 - 合同会社コラボローン西瀬戸4（船舶に係る金銭債権取得、保有及び処分）
 - － 持分法非適用の非連結子会社1社
 - (株)フレンドシッフえひめ（インターネット、カタログ及びその他通信ネットワークを利用した販売業務等）

実拠点数 81 拠点

※ローンセンター松山、四国八十八カ所支店、
HandyBank支店を除く

本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、
当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的
とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって
異なる可能性があることにご留意ください。

お問い合わせ先

愛媛銀行 企画広報部

TEL 089-933-1111 FAX 089-933-1027

ホームページアドレス <https://www.himegin.co.jp/>